

支援現場の現状と課題（精神）

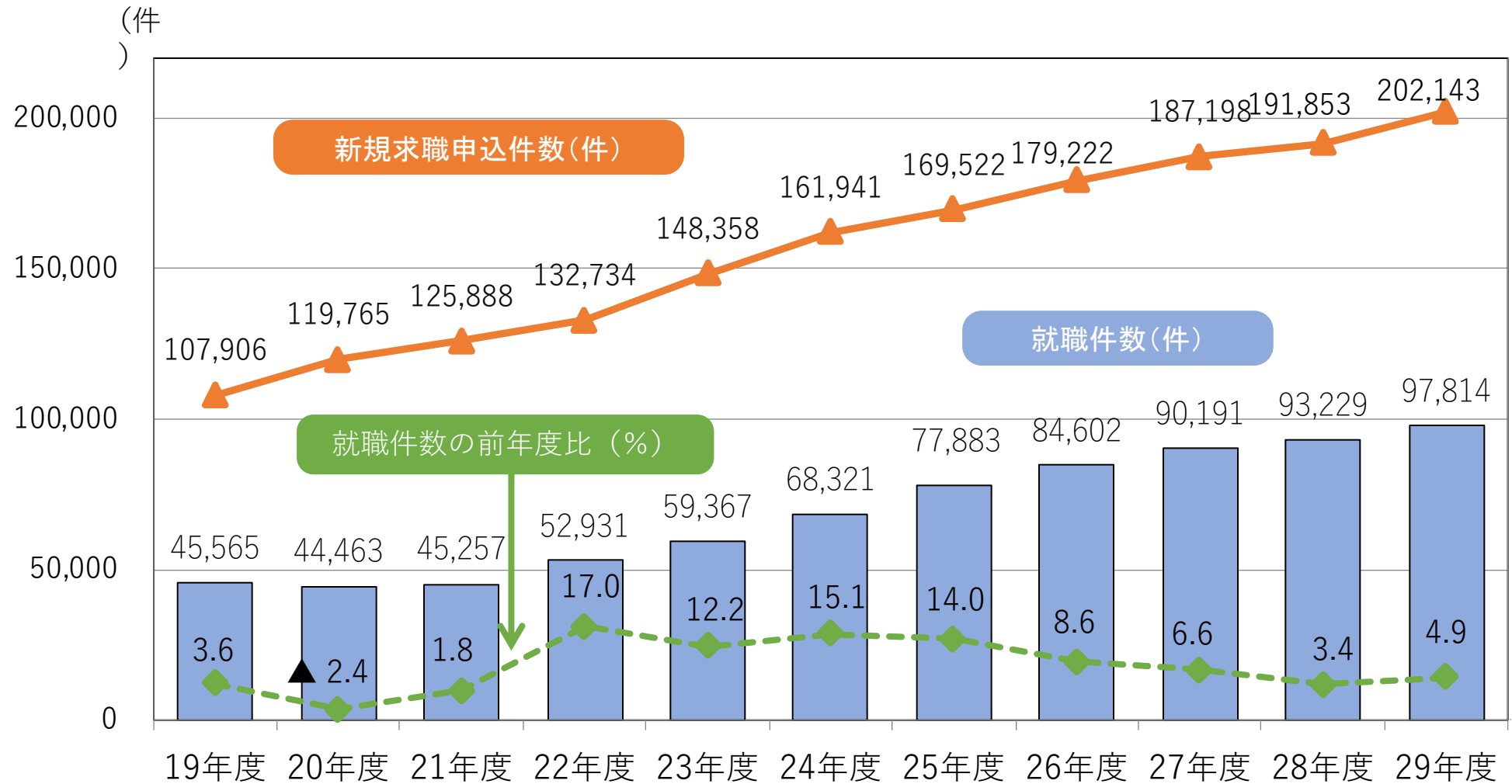
NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク

JSN

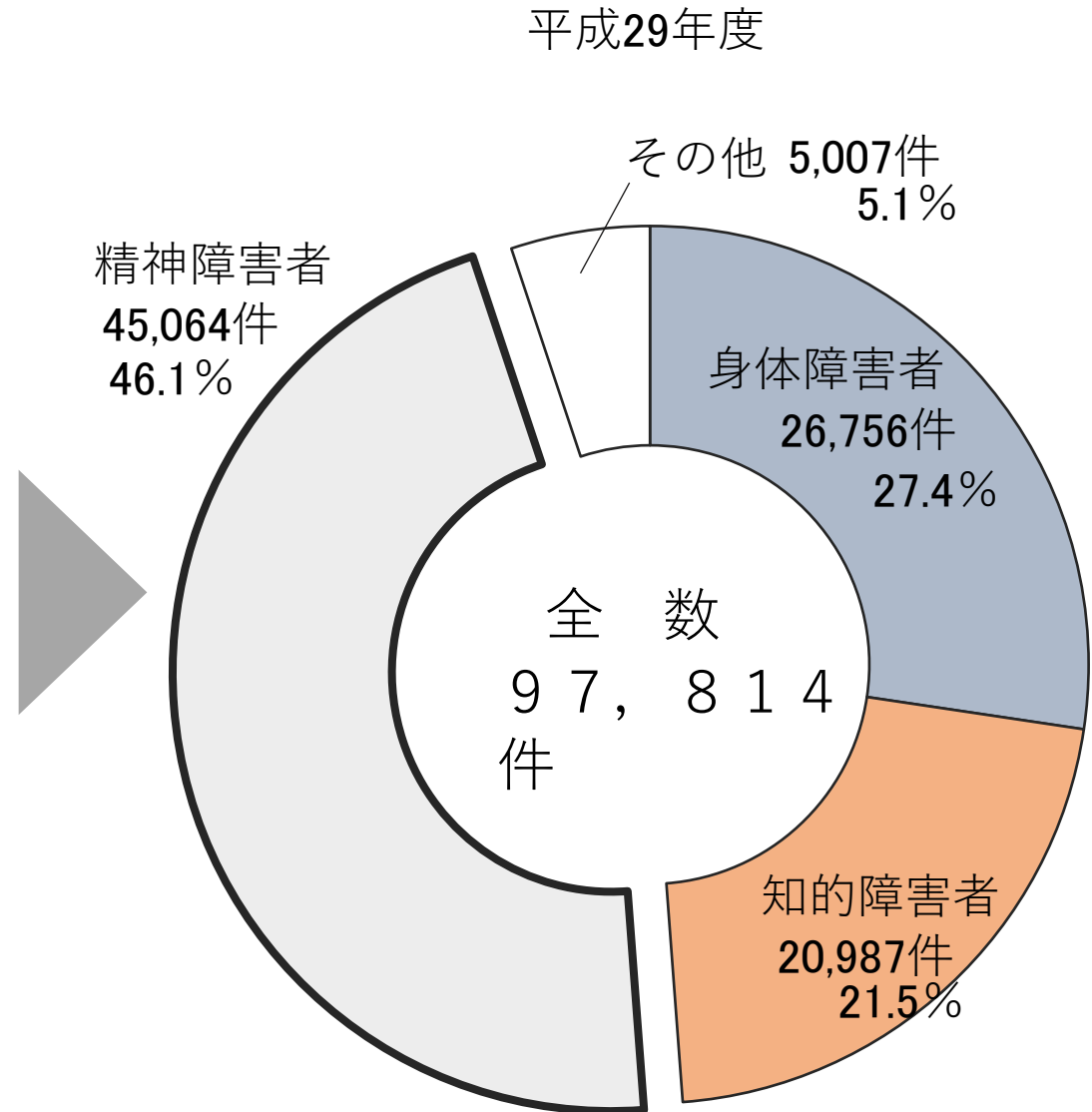
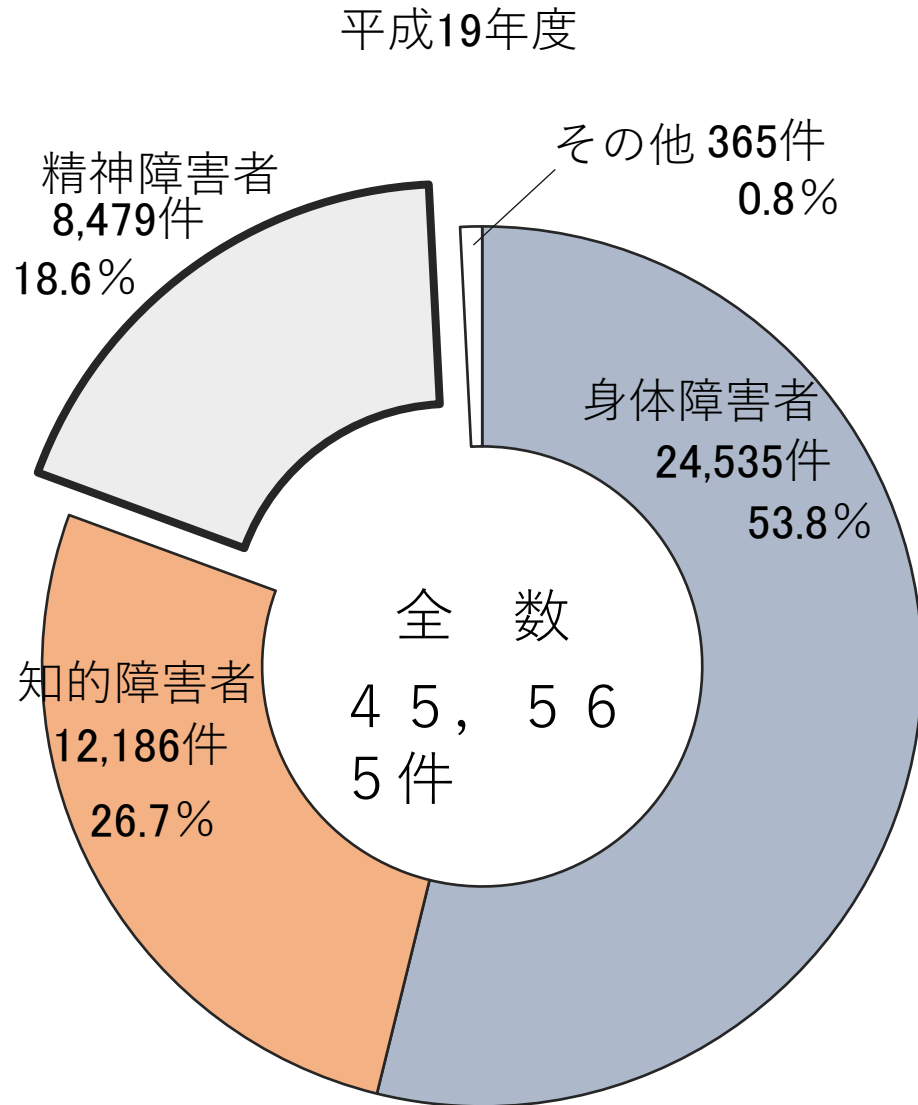
金塚 たかし

ハローワークにおける障害者の職業紹介状況

- 2017年度の就職件数・新規求職者数は、前年度から更に増加。
- 就職件数は97,814件と9年連続で増加。

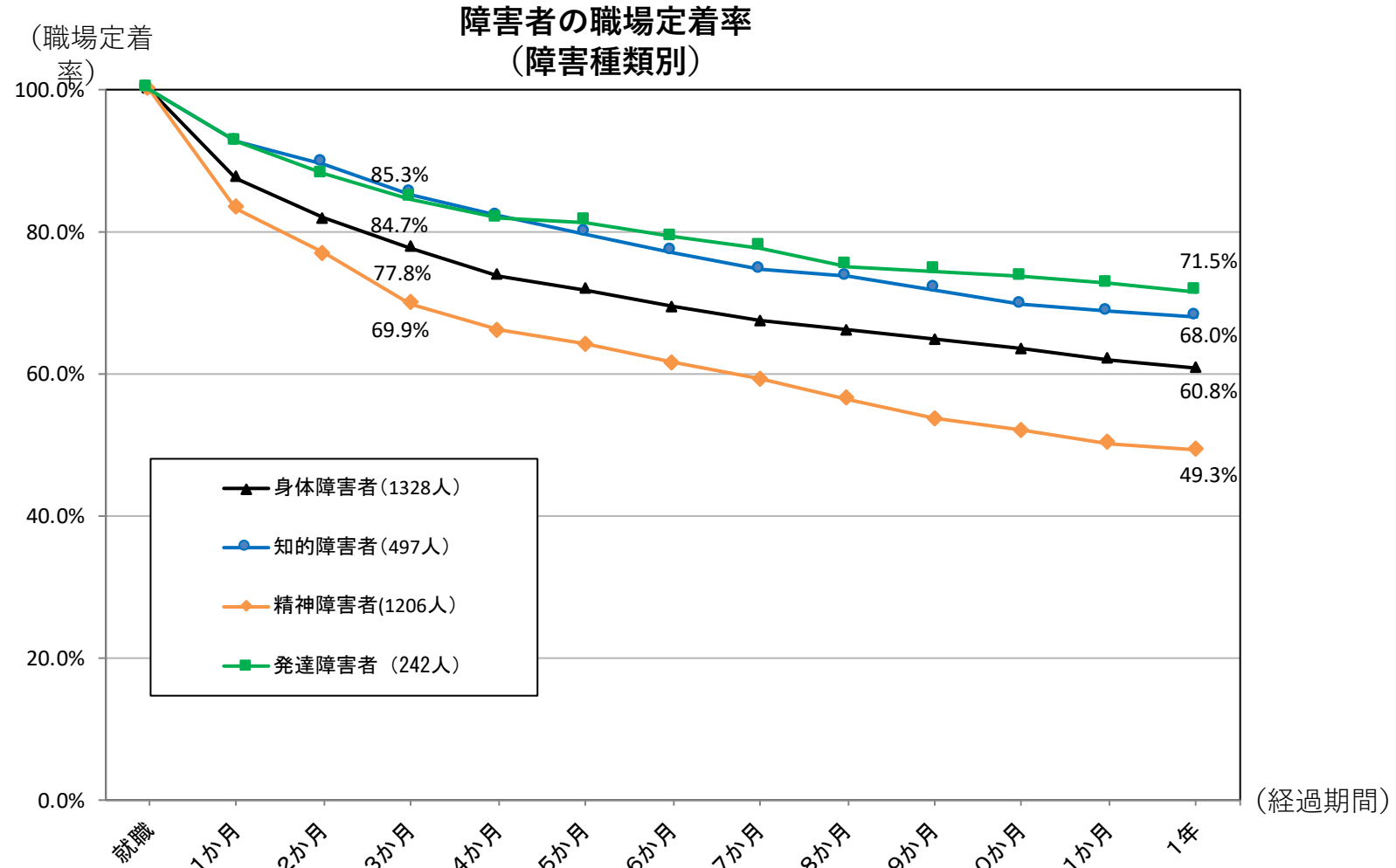


ハローワークにおける職業紹介状況（就職件数）



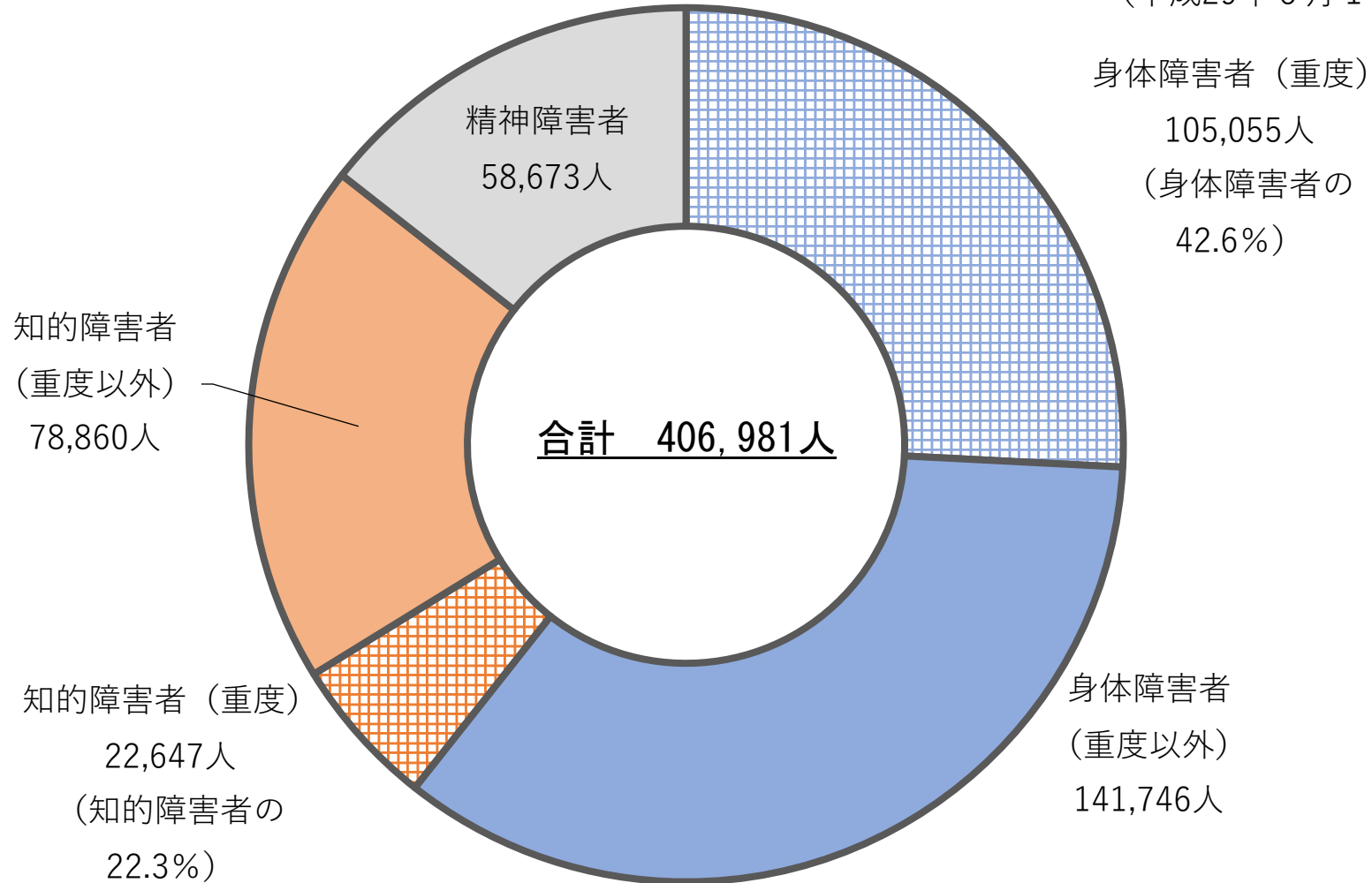
障害者の定着状況について（障害種別）

障害者の職場定着状況について、知的障害や発達障害の場合に比較的安定しているのに対して、特に、精神障害については定着が困難な者が多い状況となっている。



雇用障害者数における障害種別ごとの重度障害等の実人数について

(平成29年 6月 1日現在)



○重度知的障害者

知的障害者のうち、知的障害の程度が重
い者であって知的障害者判定機関により知
的障害の程度が重いと判断された者

○重度身体障害者

身体障害者障害程度等級表の1級又は2級に該当する障害
を有する者及び同表の3級に該当する障害を2以上重複して
有すること等によって2級に相当する障害を有するとされる
者

支援現場の現状と課題

～働く為の支援をより必要とする「重度」を考える～

【就労支援の機関】

- ハローワーク（トータルサポーター）
- 障害者職業センター
- 障害者就業・生活支援センター
- 就労継続A型
- 就労継続B型
- 就労移行支援
- 各地域にある就労支援センター

～それぞれの立ち位置で悩みは違う～

支援現場の現状と課題

～働く為の支援をより必要とする「重度」を考える～

【企業】

- 無知、不安、価値
- 精神障害者のマイナスイメージ（うつでの休職、早期の離職等）
- 法定雇用率のみでの採用
- 障害者から労働者への意識
- テレワークの推奨
- 企業の要求水準
- 育てる意識（育つ環境、育てる環境）

支援現場の現状と課題

～働く為の支援をより必要とする「重度」を考える～

【就労移行支援事業】

- 地域格差（都市部に集中・法律制度の運用）
- 選択できる事業所数、さてその質は
- 質の高い支援（理念、人材育成、アセスメント力等）
- 就職者数のみの評価（安易なマッチング）
- 戦力化への支援放棄
- 地域連携する意識

支援現場の現状と課題

～働く為の支援をより必要とする「重度」を考える～

【働き続けるを支える】

5つの力

- ①当事者の力
- ②企業の力
- ③地域の力
- ④制度の力
- ⑤支援者の力

5つの力を連携させ、働きたいと希望する障害者の就労（働き続ける）を可能にする